

2024年3月19日

岡山県知事 伊原木隆太 様

日本共産党岡山県委員会
日本共産党岡山県議会議員団
日本共産党岡山市議団

吉備中央町でのPFAS検出問題に関する
河平ダム浄化についての申し入れ

吉備中央町の資材置き場に放置されていた使用済み活性炭について、県はこのほど「廃棄物と判断した」ことを明らかにしました。問題の使用済み活性炭や、それが置かれていた土壌から高濃度の有機フッ素化合物（PFAS）が検出されており、さらに吉備中央町円城浄水場の水源であった河平ダムや、そこへ通じる沢や日山谷川からも高い濃度でPFASが検出されました。

ダムから流れる水は、宇甘川、旭川、そして海洋へと流れます。県の調査では、河平ダムの水が流れる日山谷川（山王橋）において460ng/L（10月測定）、470ng/L（12月測定）、宇甘川（大下橋）において15ng/L（10月測定）、13ng/L（12月測定）のPFOA・PFOSが検出されています。宇甘川では公共用水域等の暫定指針値（50ng/L）を下回っているとはいえ、人体に有害であることが明らかな物質を河川に流されることは問題であり、行政がそのことを知りながら放置し続けることはさらに大きな問題です。よって以下の通り要望させていただきます。

記

1. 高濃度のPFASが含まれる水を下流に流さないよう、排水場所に活性炭を設置するなど対策を講じること。
2. 河平ダムが汚染されたことにより失った水道水源機能に対し、原因者に損害賠償を求めるこ。
3. 原因者に賠償能力がない場合は、排出元を特定し損害賠償の措置を講じること。この場合、使用済み活性炭のさらなる分析が必要となる場合もあるため、県の責任で使用済み活性炭を保管すること。

以上